

五

E-0829

0278

海外經濟事情掲載

昭和5年6月2日

第3年第2號



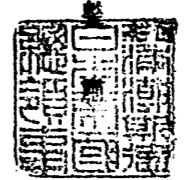
公第一二二號

昭和五年四月十日

在浦潮新從

總領事代理

緒方



外務大臣男爵 幣原 重 郎 殿

極東地方ニ「ソウエト」聯邦西部商業會議所支部開設ニ關スル件

四月十日當地新聞紙「タス」電トシテ報ズル處ニ依レバ、全蘇聯西部商業會議所ハ極東地方ノ外國貿易ノ大發展ト輸出ノ増加ニ鑑ミ、今般「ハ」府ニ同會議所支部ヲ開設スルコトニ決定セル趣ナリ。右會議所支部ノ使命トスル處ハ極東地方ニ密接ナル關係アル外國市場ノ状態ヲ研究シ、外國商業機關トノ連絡ヲ保チ、輸出殊ニ第二流商品ノ輸出増加ヲ計リ、蘇聯極東地方ヨリ輸出セラレ且、販路擴張セラルベキ商品ノ展覽會及市場ヲ、外ニ既クコトニアリ。而シテ同商業會議所支部ハ近ク日本ノ或ル商品陳列館ニ「ソウエト」産商品種ヲ設クルコトニ着手スル筈ナリト。

右報告有書考迄及報告。

在浦潮日本帝國總領事館

E-0829



上田書記官

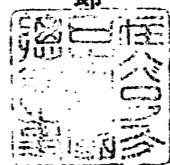
通商局

普通第一二七號

昭和五年四月十六日

任ハバロフスク

總領事 山口 爲 太 郎



外務大臣男爵 幣 原 喜 重 郎 殿

全「ソ」聯邦西部商業會議所極東支部開設ニ關スル件

今般「タツス」通信ノ致スル處ニ依レハ全「ソ」聯邦西部商業會議所ハ「ハバロフスク」ニ同會議所極東支部設置ノ必要ヲ認メ其ノ開設ヲ決議シタルカ右ハ極東ニ於ケル外國貿易ノ大發展及極東產物ノ輸出増加ニヨリ喚起セラレタリ右極東支部ノ事業トシテ擧ケラルル

四月十日附の  
諸方協会の  
ラシ

400.7.1171

昭和五年四月廿八日接受

モノ左ノ如シ。

一極東ニ接近セル外國市場ノ調査

一輸出増進奨励(特ニ第二級輸出品ノ輸出奨励)

一「ソ」聯邦西部商業會議所極東支部設置ノ必要ヲ認メ其ノ開設ヲ決議シタルカ右ハ極東ニ於ケル外國貿易ノ大發展及極東產物ノ輸出増加ニヨリ喚起セラレタリ右極東支部ノ事業トシテ擧ケラルル

市乃至展覧會ノ開催

最近極東支部ハ日本ニ於テ開催セラルル博覽會ノ一ニ「ソ」聯邦西部商業會議所極東支部設置ニ着手スヘント

商品部ノ設置ニ着手スヘント

右何等御参考迄報告申進ス

B11

B11

E-0829

13

郵米局

第一〇〇〇〇〇

昭和五年五月十九日

郵米局

BII

普通第一七一號

昭和五年五月十九日

在ハバロフスク

總領事 山口 爲 太郎



外務大臣男爵 幣 原 喜 重 郎 殿

商業會議所極東支部組織ニ關スル件

極東地方執行委員會幹部會々議ニ於テ同幹部會ハ「ハバロフスク」市ニ於ケル全「ソ」聯邦西部商業會議所極東支部ノ組織ニ至急着手スベキ旨ヲ提議シ右組織部長トシテ極東地方商業支部長「センツオフ」ヲ書記トシテ「マルイシエフ」ヲ夫々選任シ且同組織部ニ對シ外國トノ

400.71171

( ) 内容

(右報告ス)

商業經濟的關係ノ増進ニ興味ヲ有スル總テノ經濟及學術的機關並ニ極東地方機關ト事業的關係ヲ有スル外國商會ト夫々聯絡ヲ執ル様委囑シタル旨及近日右商業會議所支部ノ第一回組織會議ヲ開催シ同會議ニ於テ同支部「ソヴィエト」並ニ幹部會ヲ選定スベキ旨今般當地極執委員會機關紙ニ發表セラレタリ(四月十六日拙信第一二七號參照)

(本信寫送附允)

在「ソ」聯邦大使  
在浦潮總領事代理

B11

E-0829

寫

公第九五號

昭和五年七月十九日

在オデッサ領事田中文一郎

外務大臣男爵幣原喜重郎殿

ウクライナ對外國貿易助成機關ニ關スル件

ソ聯邦ニ於ケル對外國貿易助成機關トシテハ官廳、國營企業及コーペ  
ラチフ等ヲ會員トスル商業會議所アリ其現ニ設ケラルルモノハ

一 全聯邦東方商業會議所

二 全聯邦西方商業會議所

三 ウクライナ東方商業會議所

四 後高架索東方商業會議所

(分類 E 2.6.0.2 )

外務省

4.12 ナ

記録付名 名簿 領事田中文一郎

不業記

アゼルバイジャン商工會議所

ノ五ナリ其中歐米諸國ニ關スルモノハ全聯邦西方商業會議所ノミニ  
シテ他ハ何レモ東方諸國ヲ目的トスルモノナリ即チウクライナ、後  
高架索、アゼルバイジャン等ノソレハ地理的關係ヨリ近接ノ近東及  
中東諸國ヲ主タル目的トセルモノナリ

右ノ中ウクライナニ於テハ先ニオデッサ市ニ開設セラレタル露國  
東方商業會議所(一九二八年六月十四日全聯邦東方商業會議所ト改  
稱)支部アリタルカー一九二四年ハリコフ市ニウクライナ東方商業會  
議所設置セラルルニ及ヒ右支部ヲ廢止シ其事務ヲ管掌シ來レリウク  
ライナ東方商業會議所ノ活動ハ近年特ニ顯著ニシテ之カ爲メ近東市  
場トウクライナトノ交易關係ハ著シク緊密トナリ就中一九二八年以

外務省

4.12 ナ

E-0829

來同會議所ノ努力ニ依リ波斯灣沿岸、東部アラビヤ、埃及等ノ諸市場ニ進出スルコトヲ得タリ他方ウクライナト歐米諸國トノ通商モ兩三年前ヨリ急激ニ發達シ來レルヲ以テ之カ助成機關設置ノ必要ヲ認メ昨夏來研究ノ結果(一)ウクライナ東方商業會議所ヲ改組スルカ(二)全聯邦商業會議所支部ヲ設置スルカ、又ハ(三)獨立セルウクライナ西方商業會議所ヲ設置スルカノ三案ヲ得タリ其内ウクライナトシテハ第一ノ改組ヲ採擇シ現在ノ東方商業會議所ヲウクライナ外國貿易會議所ト改稱シ東方部、西方部ノ兩部ヲ設ケ東方部ニ於テハ從來ノ業務ヲ行ヒ西方部ニ於テハ新ニ對歐米各國ノ貿易關係事務ヲ管掌スルコトトスヘク事務ノ範圍モ

4.12 +

外務省

通商條約資料ノ蒐集  
外國側商工視察團ノ接待  
海外ニ於ケル各種貿易會議ニ對シ委員ノ派遣  
海外定期市及博覽會等ニ對スル出品物ノ勸誘及取扱  
外國貿易從業職員ノ養成  
ノ各項ヲ加ヘ内部ノ統制ニ付テモ諮問會(ソウエート)ヲ設ケテ事務ノ大綱ヲ定メシムル計畫ナリ  
然ルニ右ウクライナ東方商業會議所改組ハ未タ實現セラレス他方南部ウクライナニ於ケル對歐米通商ノ現狀ハ本問題急速解決ヲ要求スルモノアリタルヲ以テ本年六月全聯邦西方商業會議所ハオデッサ市ニ同會議所黑海アゾフ海支部ヲ開設シ黑海アゾフ海沿岸一帯ノ地

4.12 +

外務省

E-0829



並其背後地ヲ以テ其管轄區域ト定ムルニ至レリ  
右報告申進ス

本信寫送附先 在露大使

外務省

4.18 +

E-0829

